



第36回
全国豊かな海づくり大会開催記念

港・酒田と 海の恵み

庄内の海産物、飛島の歴史など、漁業に関わる資料を一挙展示します

平成28年

8月27日(土)

～10月24日(月)

●開館時間：9時～16時30分

●入館料：大人100円、学生50円
(土日は小中学生無料)

▼北洋漁業出港式(昭和31年撮影)



調査員による展示解説

9月3日(土)午前10時～(1時間程度)

9月10日・11日は、酒田市と鶴岡市で「全国豊かな海づくり大会」が開催されます!庄内の漁業の歴史を学び、大会の趣旨をより深く理解してみませんか?参加希望の方は、資料館までお申込み下さい。

酒田市立資料館

SAKATA CITY MUSEUM

〒998-0046 山形県酒田市一番町8番16号

TEL/FAX: 0234-24-6544

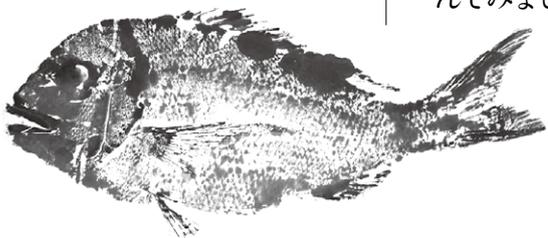
E-mail: sakata-city-museum@city.sakata.yamagata.jp

港・酒田と 海の恵み

庄内の人々は、どのように海と生きてきたのでしょうか。日本海に面した庄内では、豊富な海の幸が日々水揚げされ、私たちは季節を通じて新鮮な魚介類を食べることができます。漁業を営む人々は鳥海山にかかる雲を見て天気を知り、時には荒波に翻弄されながらも、魚を求めて日々日本海に向かって生きてきたのです。

当企画展では、過去に使われていた漁具や古絵図、写真などの展示の他、飛島の烏賊税について書かれた古文書や巨大な鯛の魚拓など、ちょっと珍しい資料も多数展示します。私たちの生活を支える「海」について、さまざまな歴史資料から学んでみましょう。

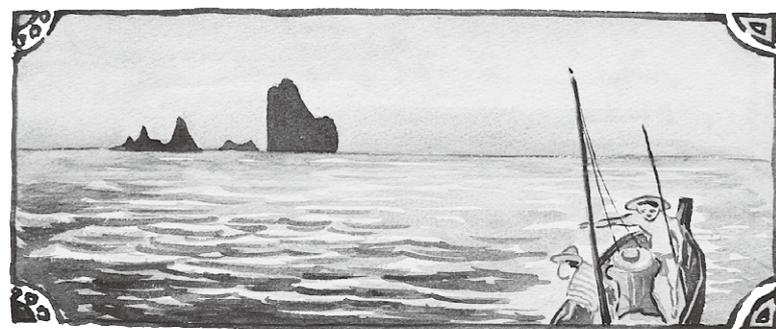
背景画像：玉網(中山賢士氏製作)



▲赤鯛の魚拓(抜粋) 昭和51年に釣り上げられた、大きさ二尺七寸(約82cm)の大鯛の魚拓。釣り上げには庄内竿が使用された。



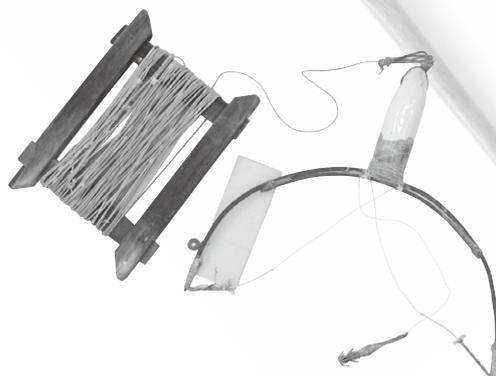
▲飛島のイカ干し(昭和30年頃撮影)



▲スケッチ「飛島旅行」より(明治44年)



▼イカ釣り道具「ヤマデ」(とびしま総合センター所蔵)



◀両羽橋での鮭とり(昭和31年秋撮影)



▲イカ釣り漁船出港式(平成28年撮影 酒田市農林水産課提供)

協力機関一覧 (50音順)

(公財)致道博物館、(公財)本間美術館、酒田市とびしま総合センター、鳥海山・飛島ジオパーク構想推進協議会事務局、とびしま漁村文化研究会、山形県庄内総合支庁全国豊かな海づくり大会推進課、遊佐町地域おこし協力隊



次回企画展予告

『酒田大火40年展(仮題)』

【開催期間】10月29日(土)～1月29日(日)

あの日から今年で40年、酒田市に襲い掛かった大災害の記憶を、残された資料を元に紹介します。過去の災害を学び、現在の減災と防災に生かしましょう。当時を知る方々も、大火を知らない世代の方々も、ぜひご覧ください。